

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭61-159286

⑬ Int. Cl.

B 62 D 25/08
25/20

識別記号

庁内整理番号

6631-3D
6631-3D

⑭ 公開 昭和61年(1986)10月2日

審査請求 未請求 (全3頁)

⑮ 考案の名称 自動車の手体前部構造

⑯ 実 願 昭60-44392

⑰ 出 願 昭60(1985)3月26日

⑱ 考 案 者 坂 本 守 一 広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ株式会社内

⑲ 考 案 者 藤 崎 康 博 広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ株式会社内

⑳ 出 願 人 マツダ株式会社 広島県安芸郡府中町新地3番1号

㉑ 代 理 人 弁理士 田 中 清 一

㉒ 実用新案登録請求の範囲

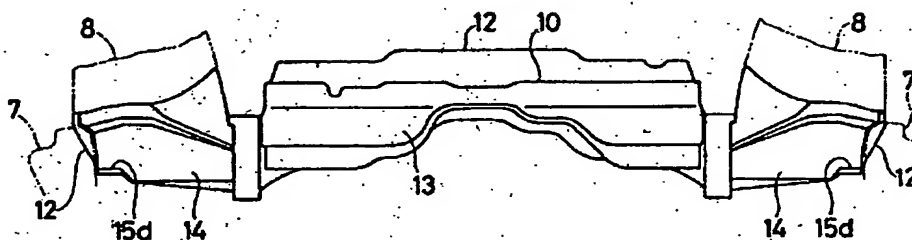
手体前部のフロアパネルに続いてキャビンとエンジンルームとを仕切るダツシユロアパネルが設けられ、フロアパネル側縁のサイドシルの前端に続いてタイヤハウスが形成された自動車において、サイドシルの内側面からタイヤハウスの内側面にわたつてこの両内側面に沿つて曲設したレインフオースメントが接合され、フロアパネルとダツシユロアパネルとはサイドシルの前端部に対応する位置で接合されていて、このフロアパネル、ダツシユロアパネルおよびサイドシルの交わる位置で上記レインフオースメントにサイドシルとの間で閉断面を形成するキャビン側に張出したビードが形成されていることを特徴とする自動車の手体前部構造。

図面の簡単な説明

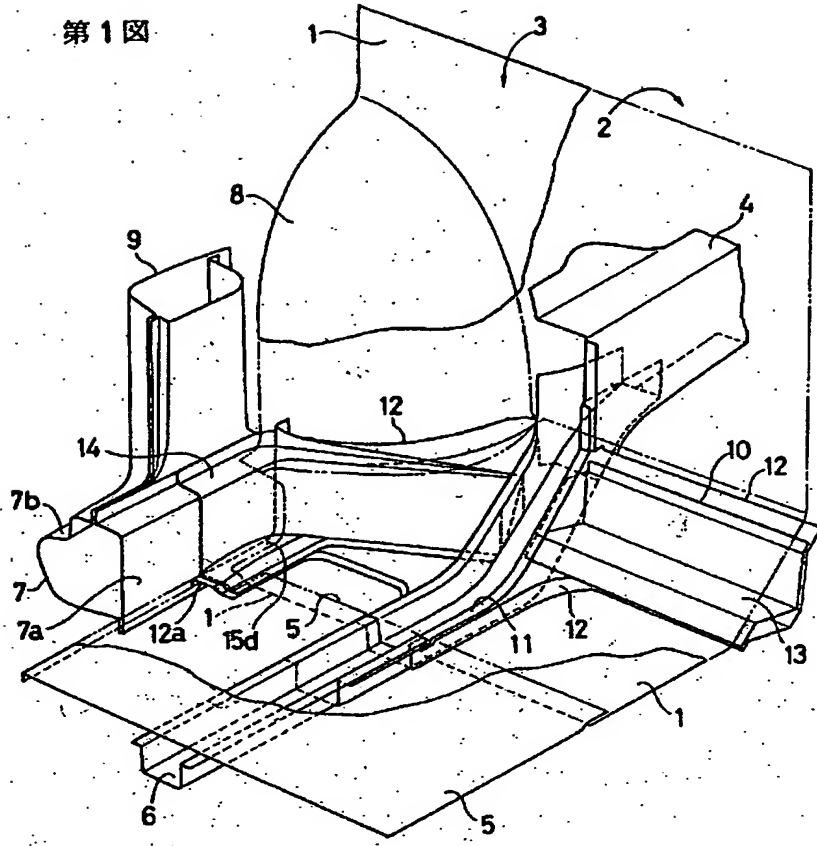
図面は本考案の実施例を示し、第1図は自動車のサイドシルとタイヤハウスのなすコーナ部およびその周辺の構造を示す斜視図、第2図は手体前部における各部材の接続関係を示す平面図、第3図は同正面図、第4図はレインフオースメントのサイドメンバの平面図、第5図は同正面図、第6図は第2図のA-A線断面図である。

1……ダツシユロアパネル、2……エンジンルーム、3……キャビン、5……フロアパネル、7……サイドシル、8……タイヤハウス、10……レインフオースメント、12……ダツシユロアクロスメンバ、14……サイドメンバ、15d……ビード。

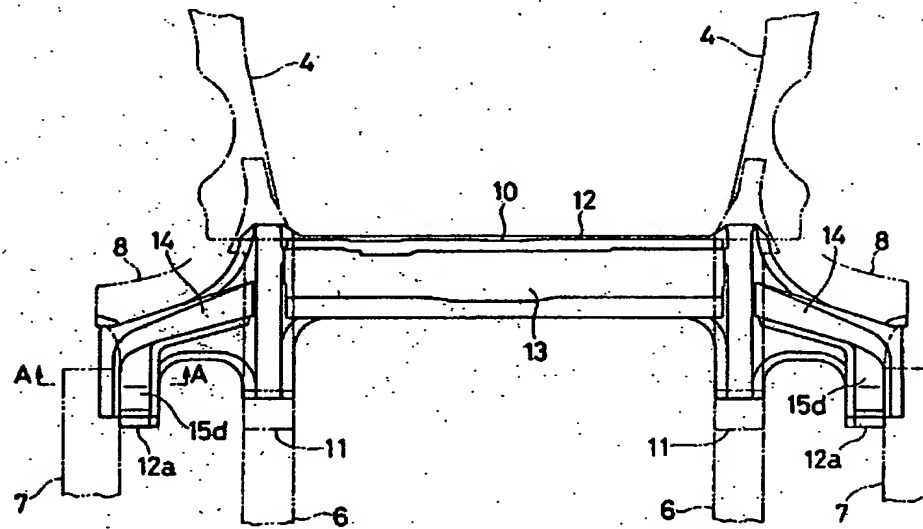
第3図



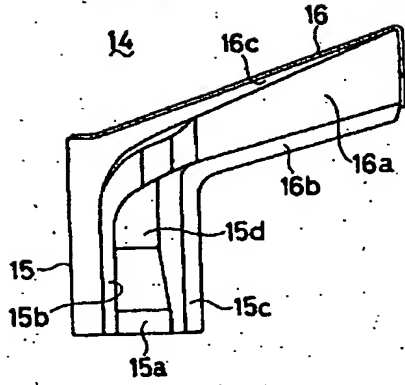
第1図



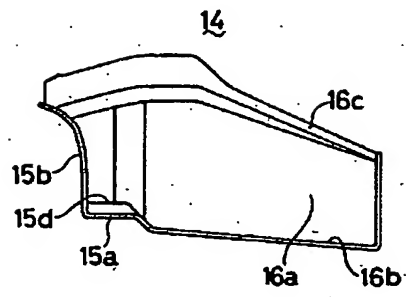
第2図



第 4 図



第 5 図



第 6 図

